

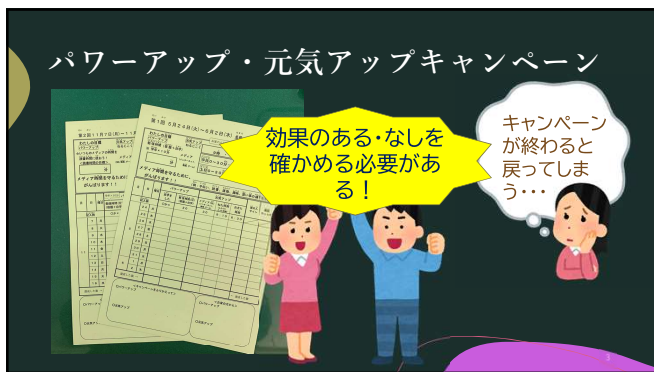
データ活用を通じた
授業改善や学校運営
～カリマネ・研究授業・
保健室経営・働き方改革～

新潟市立月潟小学校



本当に効果があったのか…?

パワーアップ・元気アップキャンペーン



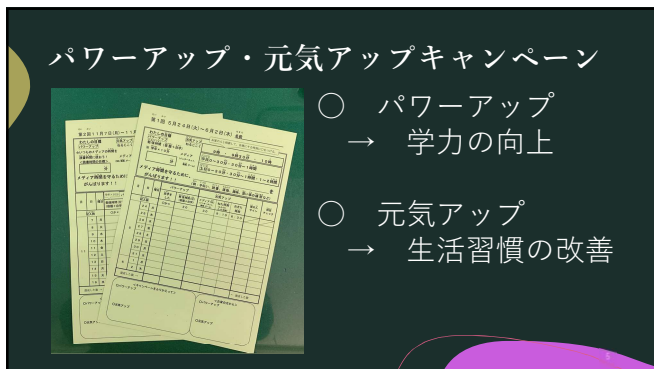
効果のある・なしを
確かめる必要がある！

キャンペーン
が終わると
戻ってしまう…

GIGAスクールを活用してデータをとる



パワーアップ・元気アップキャンペーン



- パワーアップ
→ 学力の向上
- 元気アップ
→ 生活習慣の改善

元気アップの取組について

養護教諭 平野 麻里

「元気アップ」の取組の意図

- ・メディアの利用時間の抑制
- ・睡眠時間の確保

コロナ禍となつてからの課題～平熱～

この子どもは発熱しているのかな

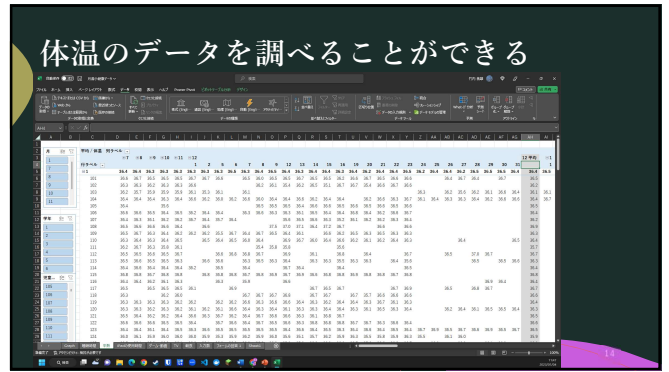
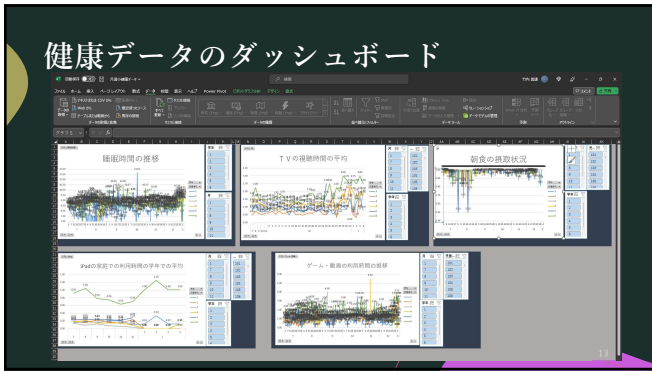
データの入力シートの作成

- ・寝た時刻
- ・起きた時刻
- ・メディアの利用時間
- ・朝食をとったか
- ・今朝の体温
- ・おおまかな体調

蓄積されたデータスプレッドシート

データはTeamsで共有

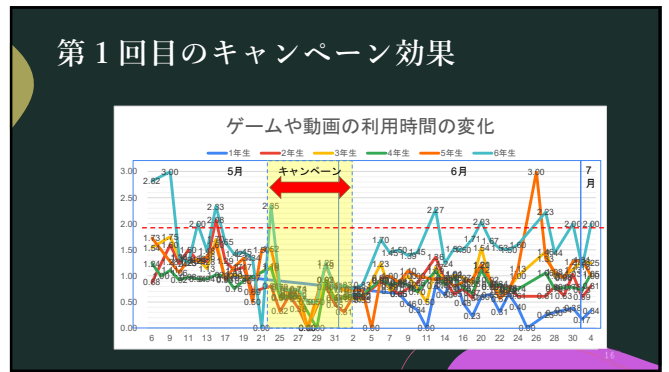
データはTeamsで共有



パワーアップ・元気アップキャンペーン

・年3回の実施
(6月、11月、2月)

The slide features a checklist titled 'パワーアップ・元気アップキャンペーン' with various items to be completed. Below the checklist, two cartoon characters, a man and a woman, are shown with question marks above their heads, suggesting a focus on inquiry or evaluation.



第1回目のキャンペーンの結果から

- ・キャンペーンの効果は一時的
- ・終了後、元の水準にほどなく戻ってしまう。

改善するよさが伝わっていない!

短期的な取組に加えて、息の長い長期的な手だてを平行して講じる必要がある

The slide uses a woman with a question mark to highlight the temporary nature of the campaign's success. A man's speech bubble emphasizes the need for long-term, parallel strategies to achieve lasting improvement.

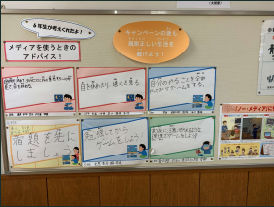
息の長い長期的な取組み

養護教諭による各学級への指導

- ・短時間 (1回につき10分程度)
- ・長い期間繰り返し実施

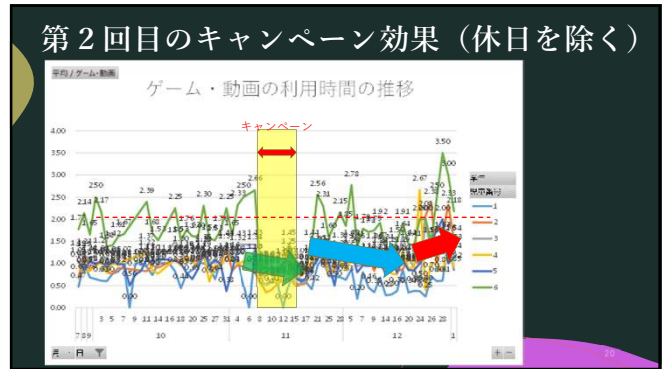
A photograph shows a teacher (養護教諭) standing in a classroom, addressing the students. This illustrates the implementation of the long-term strategy through regular, short-duration guidance in each classroom.

息の長い長期的な取組み



子どもたち（保健委員会の児童）によるポスター作成

- ・各学級に渡す
- ・短い言葉で簡潔なもの



元気アップキャンペーンの効果について

長期的な取組を追加したことで

- ・緩やかに利用時間が減少し続ける様子が見られた
- ・元の水準よりも下がろうとする傾向がみられた

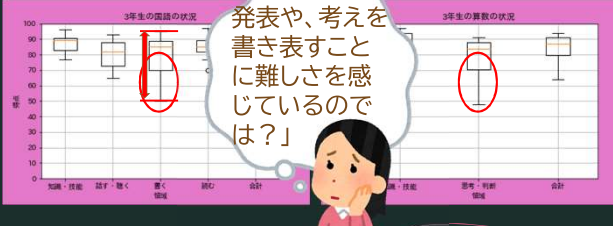
課題

- ・子どもにとってメディアの利用時間をコントロールすることそのものが難しいこと
- ・職員の負荷なく継続する方策が必要なこと

パワーアップの取組について

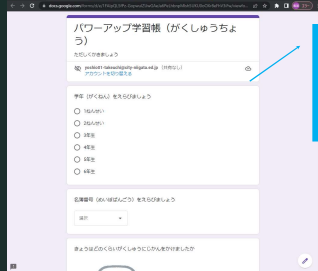
研究主任 教諭 牧野 みなみ

学力向上の取組み

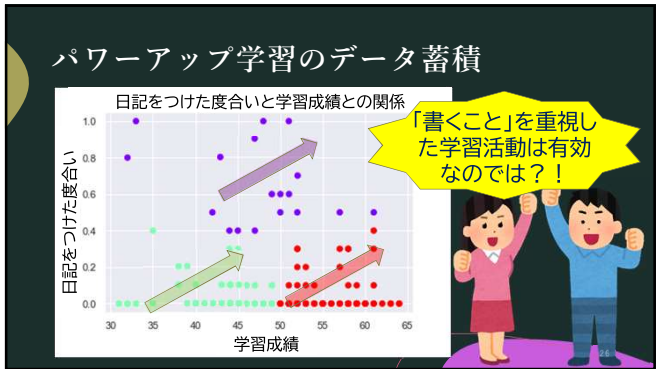
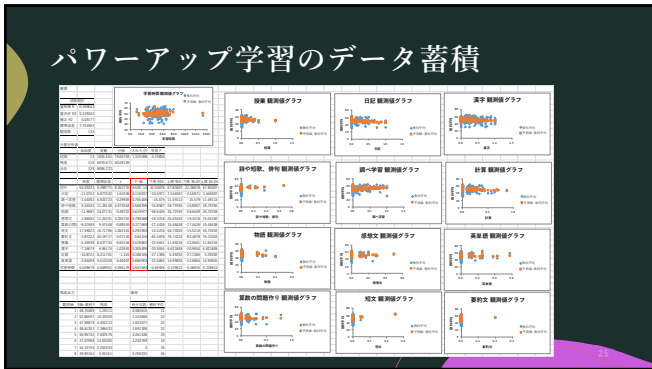


発表や、考えを書き表すことに難しさを感じているのでは？」

パワーアップ学習のデータ蓄積



- ・家庭学習の時間
- ・学習内容の記録（日記、振り返り、ドリル学習など）



パワーアップ・元気アップキャンペーン

- ・家庭学習では日記を推奨
- ・書く量を調べる
- ・研究授業を通して効果を調べる

授業研究の様子

5年生 理科
「流れる水のはたらき」
教諭 飯田 智博



AIを用いた文字起こし作業

授業研究の様子

授業研究を通しての子どもの変容

t-検定: 一対の標本による平均の検定ツール

	授業前	授業後
平均	1.565217	1.73913
分散	0.347826	0.747036
観測数	23	23
ピアソン相関	0.302407	
仮説平均との差異	0	
自由度	22	
t	-0.94044	
P(T<=t) 片側	0.178603	
t境界値 片側	1.717144	
P(T<=t) 両側	0.357206	
t境界値 両側	2.073873	

ある授業の前後での言語力の変化

授業研究を含めた中期の子どもの変容

第5学年のループバックポイントの変容

授業研究を含めた中期の子どもの変容

t-検定: 一対の標本による平均の検定ツール

	C0	Cn
平均	1.04	1.64
分散	0.04	0.74
観測数	25	25
ピアソン相関	0.0871857	
仮説平均との差異	0	
自由度	24	
t	-3.464102	
P(T<=t) 片側	0.0010066	
t境界値 片側	1.7108821	
P(T<=t) 両側	0.0020133	
t境界値 両側	2.0638986	

3ヶ月間の子どもの言語力の変化

パワーアップキャンペーンの効果について

- 改善と継続の重要性
- 継続的に子どもの様子を確認

